

認定

職業実践専門課程のご案内

東京デザイン専門学校は、以下の学科において職業実践専門課程の認定を受けています

※制度ができてから2年目になりますが、本校は制度スタートの1年目から認定されています。

ビジュアルデザイン科	グラフィックデザイン科	イラストレーション科	アニメーション科
マンガ科	インテリアデザイン科	ディスプレイデザイン科	ファッションアクセサリ科

職業実践専門課程とは

- 文部科学大臣が認定します。
- 認定されるためには一定の要件を満たす必要があります。
- より実践的で専門的な職業教育を行っている課程が認定されます。

認定の要件は裏面をご覧ください。

職業実践専門課程として、東京デザイン専門学校のこれから

- デザイン・クリエイティブ分野で、より実践的で専門的な職業教育を展開します。
- 継続的に職業教育の質の向上につとめます。
- 企業や社会のニーズに応え、一人ひとりの学生に最適な教育を考えていきます。

他にも…

卒業証書の記載が変わります

専門士 (〇〇専門課程) 〇〇学科



職業実践専門課程 (平成〇年文部科学省告示第〇号)

専門士 (〇〇専門課程) 〇〇学科

就職や将来の職業にも有利

職業実践専門課程を卒業することは、企業と連携した質の高い職業教育を修了したことの証。社会や企業からの高い評価が期待され、就職にも有利です。



認定の要件

職業実践専門課程として認定を受けるためには主に以下の要件が必要です。

① 学ぶ内容と関連する業界・企業と連携した教育を行っていること。

専攻分野に関連する企業との連携

■ カリキュラムの編成

カリキュラム編成に企業が加わって検討しています。業界の現状や業界からの教育に対する要望を把握し、実践的なカリキュラムをつくります。

■ 授業の実施

インターンシップ、企業からの講師派遣、企業課題など、企業と連携した授業を行っています。

■ 教員研修の実施

本校では日本広告制作協会や日本空間デザイン協会、日本動画協会など関連団体・企業から講師を招き、教員への指導力向上を行っています。



TDAの取り組み

企業や商店街とコラボして、実際に原宿をデザインする!

実践力を高める産学コラボカリキュラム

企業課題・
産学コラボ
レーション
例

竹下通りゲート・街路灯デザイン、竹下通りキャラクター(原宿竹下通り商店会) / 原宿クエストビロティ柱巻き装飾(原宿クエスト) / 「マイドリーム・マイディズニー」バイナルメーションデザインコンテスト(表参道ヒルズ) / 地域安全運動ポスターデザイン(原宿警察署・原宿防犯協会) など



② 教育や学校運営に関する情報公開を積極的に行っていること。

情報公開

教育の内容、目標や計画、学生生活に対するサポートの状況など、学校の運営状況を公開。本校はホームページに公開しています。



学校自己評価、学校関係者評価の実施・公表

関連企業の方も加わって行います。本校ではすでに3度実施し、ホームページに公開しています。

また、修業年限2年以上、総授業時数1,700時間以上(または総単位数62単位以上)が求められています。

